

東港金属株式会社

東京都大田区京浜島2-20-4

電話 03-3790-1751

URL <http://www.tokometal.co.jp>

(見学受付)

電話03-3790-1751 又は 各営業担当

*8月、盛夏です。暦の上では7日が立秋ですので、7日以降の季節の挨拶は残暑となりますが、このように猛暑日が続くと、残暑の定義?や使い方も変化していくのではないのでしょうか。

* 2020年、その猛暑の時期に東京オリンピックが開催されます。炎天下のロードレース競技のため、環境省は選手や観客の熱中症予防や、ヒートアイランド現象抑制の対策技術構想を推進するというニュースがありました。人工的に発生させたミストを噴霧器で選手や観客に吹きかけることや、コースの路面に保水性の高い素材を敷いて周りの気温を下げる。以前には移動式の樹木で日陰を作るという案を聞いたこともあります。必要は発明の母です。技術開発には「リサイクル出来る素材」というテーマを忘れずに入れてもらいたいものです。

* 東港金属株式会社は非鉄・スクラップの買取り、産業廃棄物の処理を「いつでも」お受けいたします。身近なリサイクルパートナーとしてお気軽にご相談ください。



★羅針盤

鉄・非鉄スクラップ・市況からの8月予測

営業部 Y の考察

- 鉄スクラップ** → 考察) 7月は、東京製鉄宇都宮工場特級価格19,000円/トンでスタート。前半1,000円/トン下げ、最終的には18,000円/トン。鉄鉱石の価格が上昇している事や輸出価格も上げているため8月後半から多少上げが見込まれます。
- 銅** → 考察) 7月はLME4,800ドル/トン台、国内銅建値540,000円/トンでスタート。円高・LME在庫増・株式市場の連鎖安等の要因により8月は下がると考えられます。
- アルミ** → 考察) LME1,630ドル/トン台スタートし、最終的には1,600ドル/トン台をキープ。ユーロ高・LME在庫減少から見ると、8月も横ばいと思われま。
- プラスチック** → 考察) 原油安・円高により、一部製品価格が下がっていますが、スクラップに関しては、7月同様8月も横ばいでしょう。しかし相変わらず品位の要求が厳しい為、有価対応は厳しいようです。

7月予測の自己評価

鉄スクラップ	○	アルミ	○
銅	○	プラスチック	○

★羅針盤

刀剣の産地「備前」と「鉄」のお話し



私の履歴書・家電量販時代 (第2回)

前回、大きな声で挨拶をしていたら、お客様から次第に自分が呼ばれる傾向が増え始めたのは何故だろうと疑問を持ったことをお話ししました。その理由をお客様に何うと「皆、作業をしているから声をかけるのが申し訳なくて…誰に声をかけようか迷っていたら、大きな声が聞こえたから」とのことでした。

辺りを見渡すと、販売員は自分のコーナーの清掃や品出し、配置変更などの業務に没頭しており、客目線の立場で店内を見れば「この店は販売員に声をかけづらい」との印象だったようでした。しかし、入社2年目の私は、店内の販売員は全て先輩社員の為、そんな事も言えない状況でしたので、私が出した答えは単純に「来て頂いたお客様には、全部、自分が販売しちゃおう!」でした。

そして…さすがに全てのお客様を1人で対応する事は不可能でした。そんな中、グループ全社の競争力を高める為のキャンペーンが始まりました。丁度、「実力主義」と言う言葉がはやり始めた頃です。運動会シーズンなので、特に売れるビデオカメラの販売台数を店舗ごとに競争させるキャンペーンです。

当然『これください』と指定されて売れる品物では無く、商品の良さを分かって頂けなければ売れない付加価値商品が限定です。『店舗ごとの競争なら負けたくない!』やる気満々の私でしたが、やる気はあるものの、商品知識が有りませんでした。

商品知識を補う為に、休日の日には違う家電量販に足を運び、どの様な商品説明をするのか聞いて回っていました。

色々な店舗で、色々な販売員の商品説明を聞き、お客様が欲しいと思っ頂ける為には、どの様な商品説明が良いのか考え、アレンジして商品知識不足を補いました。

知識が補えれば、持ち前の声出しと、素早いアプローチで販売は伸びず事が出来、気付けばビデオカメラの店舗販売台数が全国で第3位に入る事が出来ました。

この頃から『販売する楽しさ』を理解し始め、店舗内では常に個人売上1位になる事を目標に販売に専念し始めました。

しかし、目標を達成出来る様になると、今より上を目指したいと言う思いも強くなってきました。そしてタイミング良く、千葉県内に松戸店がオープンする事となり、店舗も大きく、自分は異動してみたい!大きな店舗で自分がどれだけ売れるのかチャレンジしてみたい!と、当時の木更津店の店長へ相談し、新装開店する松戸店へ異動する事となりました。

様々な売場の担当を持つ事が出来、平成14年4月にはテレビ、オーディオ担当。そして、丁度、コンポの販売キャンペーンが開催されました。

今度のキャンペーンは店舗ごとの順位にプラスして、個人順位も競い合うと言う事で、今度は個人全国1位になる事を目標に販売に専念致しました。しかし結果は全国2位。

中々、目標を達成出来ぬままでしたが、最初に入社した木更津店の売上不振の立て直しの為、平成15年11月に再び木更津店へ異動する事となりました。

(営業部) 茂田 美邦



鉄スクラップ → 考察)

銅 → 考察)

アルミ → 考察)

プラスチック → 考察)

7月予測の自己評価

鉄スクラップ	○	アルミ	○
銅	○	プラスチック	○

★羅針盤

刀剣の産地「備前」と「鉄」のお話し

最近、「刀剣女子」と呼ばれる「日本刀ファン」の女性が増えているとのこと。戦国時代等の歴史物が大好きな女性の「歴女」と同じく、これまで中年男性が好んでいた(と思われていた)ジャンルに若い女性達が仲間入りしてきました。「刀剣女子」になるきっかけは、評判になったゲームの影響らしいのですが、ゲームにのめり込み、刀剣の由来や鍛錬方法を学び、遂には刀剣自体に興味を持ち、その美しさ妖しさに魅せられてしまったようです。

さて、今回のトピックスは大昔からリサイクルの優等生であり、刀剣の材料である「鉄」と刀剣の産地についてのトピックスです。

まずは、簡単な製鉄方法についての知識から。

鉄は自然によって作られるものではありません。人間が作り出さねばなりません。その材料となるのが自然界にある鉄鉱石や砂鉄といった鉄の酸化物です。ここから酸素を奪い鉄を取り出します。砂鉄や鉄鉱石と言った酸化鉄を、木炭の燃焼によって還元(酸素を奪う)し、鉄を得るのが「たたら製鉄」で、古来から行われていた製鉄方法です。

さて、詳細な鉄の製法については到底紙面が足りませんので、刀剣の主な産地「備前(びぜん)」に絡んだ製鉄の簡単な歴史に移ります。

慶長(1597年)以降の日本刀の主要な材料となった玉鋼は、砂鉄を原料として作られます。しかし平安時代初期までは、鉄鉱石が主なたたら製鉄の原料で、地域によっては砂鉄を使っていたという状況でした。鉄鉱石を使用していた主な地域は備前国、備中国、備後国など中国地方の山陽側(現在の広島県の一部や岡山県の一部)、近江国の琵琶湖周辺、東北地方などです。これら以外の地域では砂鉄が使われていたようで、その違いは製鉄技術が伝わった経路に違いがあるのではないかと考えられています。

刀剣には多くの産地がありますが、古くから著名な産地として「長船(おさふね)」を輩出した備前が知られております。備前は、「吉備(きび)」から7世紀後半に分割された国です。分割される前の吉備を詠った和歌に『真金吹く吉備の中山帯にせる細谷川のおとのさやけさ』とあります。『真金吹く』は吉備にかかる枕詞で、真金(まかね)とは「鉄」で、真金吹く(ふく)は「製鉄」を意味します。和歌に詠われるほど吉備は古くから鉄の産地として知られておりました。当時、鉄と鍛を都に税として納めていた国は、吉備から分割した美作・備前・備中・備後の4カ国だけでした。ところが、平安中期には、備前からの納税品目に鉄がなくなっています。これは備前の鉄鉱石が枯渇し鉄を作ることができなくなったためと言われております。その後、備前は砂鉄を使った製鉄に切り替え、吉井川上流で豊富に採取出来る砂鉄を下流の赤坂(赤磐市)へ運び、この地で製鉄が急速に発達しました。そして鎌倉時代に街道筋が南へ変わると、福岡(瀬戸内市)の地へ移住し、以後刀剣王国として数々の名工を輩出し、多くの名刀を産み出してきたのです。

参考文献:ウィキペディア、おさるの日本刀豆知識